努力賞

お気に入りの絵本」

荒川区立第七中学校 二年

道家 武蔵

絵本を自分から読もうとはしませんでした。けでまだ完壁には読めないひらがなが書いてあるうつら、うつらしながらきいているのが好きなだな私を寝かしつけるた買ってきた絵本をただただがとても大好きで、といってもはじめは母が小さく場本を自分から読もうとはしませんでした。

ともたたありました。そんな私にしびれをきらしがありあまってしまい夜遅くまで起きてしまうこた。この絵本を母が読んでくれたとき、私は元気みよ子先生の「ねない子だれだ」という絵本でしるんな小さな私に変化をもたらしたのは、松谷

に静かになり寝てしまったそうです。 に静かになり寝てしまったそうです。案の上れていってしまうというストーリーでまさにそのこの絵本は夜ふかしをしている少年をお化けが連て母が買ってきたのが「ねない子だれだ」です。

み終えたと母から聞きました。というのが絵本の良いところであっという間に読す。文字が少し分からなくても絵を見れば分かる生まれてはじめて一人で絵本を読んだそうなのでしかし、続きがどうしても知りたくなった私は

か知ろうとしたりしたそうです。い言葉を聞きにきたり絵本の中に出てくる物が何なったそうです。また、それだけでなく分からなこのことをきっかけに次々に絵本を読むように

問という概念がはっきりとできた最初の物だからではなく、この本に私の知識欲の原点があると思ではなく、この本に私の知識欲の原点があると思ただはじめて自分だけで読んだ本だからという訳をがなぜこの本が一番印深かったのかというと、

もしろいなと思いました。ことができたんだと思うと感動し、改めて本はおーつの本、それも絵本でこんなに世界を広げる